



興味の無い人にはただの古着 でも、好きな人には宝の山

福助堂 代表 阿良田由紀さん

あらだ ゆき

着物を切り売りしてくれる
ちよりと珍しき骨董のお店が、
JR田端駅の北口近くにある。

日差しを避け、開店前の静か
な店内に入ると、どこか懐か
しい匂い。店そのものが着物と
布でいっぱいの和たんすのよう
だ。奥からあらわれた共同経
営者の阿良田由紀さんは、組
の組の着物姿が涼しげな美
人である。現在の大家さん

から、店が空いたからこそ何
かしないかとすすめられ、すぐ
に開店を決心したというのだが
ら大胆なことこの上ない。ちな
みに、お店はもう一人の女性と
の共同経営だそうだ。

「うれしい古着発見
古布つていうんですよ。」

「トド」である。長く
たんすにしまって込まれ
ていた着物は、こ

ふ」になって蘇るのだ。こ
うした着物の仕入れは電
話帳広告が役立っていると
いう。広告を見た年配の
女性が「捨てる」ことができ
ず処分に困っている着物を
買って欲しい」と電話し

「みなさん、いろいろな布が
たくさん欲しいんです。」



古美術 福助堂



〒114-0013 北区東田端 1-9-11
<http://www.fukusukedo.net> TEL・FAX/3800-2288
営業時間 /11:00 ~ 19:00 日曜祭日定休



物屋さんである。福助堂
がユニークなのは、仕入れ
た着物をそのまま売るだ
けでなく、ほじいた布を10

扱う普通のアンティーク着
物屋さんは、仕入れ

うものだから、不要な人から
ばれているそうだ。
また、日本の文化に関心の
ある外国人観光客がグループ
でやってくることも多い。

古布はじずれ無くなってしま
ったのである。福助堂
アを出し、小物作りや商
品作りにもどんどん新しい提案
をしていくことである。お
客様のニーズに敏感で、新しい
チャレンジに前向きな姿勢が、
店の個性と活気になつていて

地に足のついた
新しいものづくりの世界を広げたい。



革製品全般オーダー R

デザイナー 木島慎哉さん



50代までと幅広い。有名人ではEX-LEのHARO氏のレザーウエアや俳優の渡部篤郎氏の靴を手がけている。注文した靴の様子を見にショップに立ち寄られる方も多い。そうだが、遠くのお客様には製作の途中経過を写真に撮り、インターネットでご案内している。完成までのプロセスも、お客様にとっては大きな楽しみだ。



商店街も大勢の人が集まっている商店街である。彼が梶原商店街を気に入ったのは、道幅が広いのが気に入ったからだと。北区にはいい技術や製品を持つておるお店や人が多いから、自分がここで、ものづくりを持つておる夢は大きく広がっていくようだ。

始めれば、次第にものづくりの店が増え、新しい活気が生まるのではないか。自分がいまの仕事に打ち込めるのも理解のある妻や両親、多くの人たちが支えてくれているおかげで、外移転がすすめば国内は空洞化する。

「革でつくれるもののは何でもつくりたい。」
そう言い切る木島氏は、穏やかでもの静かな好青年だが自信にあふれていた。靴の販売で履き心地の不思議に目覚め、28歳で靴づくりの道へ。ものづくりの力を蓄えてやがて独立し、昨年、北区の梶原商店街に念願かなつて革製品作りに理想的なワークスペースを備えたショットを出した。都心ではなく、落ち着いて仕事ができるこの土地を選んだ木島氏は34歳。まだ若いが、きっと何かが見えている人なのだけれど。

名刺にある「革製品全般オーダー R」のRは曲線や曲がり具合を表すR。
靴から鞄、革小物、レザーウィア、照明器具まで、幅広いジャンルを手がけている彼の気

合いか、お店の口の赤いRに感じられる。「お客様が欲しいという物は、初めてのものでも挑戦してつくり上げる。」相談されたらできないとは言わない。それはお客様といつしょに作品をつくり上げるのだ。という彼の信念である。彼の手元にはいま75冊の作品アルバムがある。1冊に20点の作品。だから合計で1500点。その1点1点がこの6年間の彼の作品世界の軌跡である。

日々、新しいものづくりに挑戦し続けている彼に、今、注文するところになりますかと聞くと、「今は一年待ちです。」と、申し訳なさそうだ。フルオーダーの靴の場合、通常でも足型測定→仮靴製作→フィッティング→微調整→完成となる。そこで、通常3ヶ月かかるという。お客様は女性が65%で、男性が35%。年齢層も20代~

ショットでは革製品づくりの教室も開設している。現在、約100人の会員が小物コースや手製靴コースなど、ものづくりの楽しさを学んでいる。この他、彼はかつて自分が学んだ都立東職業能力開発センター・台東分校・製縫科でも教えていた。「日本人は繊細で勤勉だからものづくりに向いてるし、ものづくりの技術と伝統を日本に残さなくては…。自分の技術を磨き、よい作品



革製品全般オーダー R

〒114-0004 北区堀船3-32-3
http://homepage2.nifty.com/kijim-earl/
TEL/090-8947-2131 FAX/6240-8176
営業時間 /11:00 ~ 19:00
金曜日（他曜日・一部不定休）定休



昭和ブームを超える

北区の部屋なら、江戸時代から北区の歴史が垣間見られます。

「北区の部屋」は北区のことなら何でも分かることを目指した中央図書館の目玉施設の一つです。コンセプトは“初心者から上級者まで”。北区を知らない人にもわかりやすく、既に知っている人には更に深く知てもらえるような場所を目指しています。

《北区の部屋4つの機能》

- ① まちの記憶を探る
- ② 北区を発信する
- ③ 北区の歴史を学ぶ
- ④ 北区の“知”相談室

北区は近代産業発祥の地と言われ、明治初期の日本の近代発展を牽引し、戦後の工業集積も都市型工業の典型とされてきました。そうした偉大な歴史を皆さん知っていましたか？ 北区



の部屋では産業面の切り口だけでなく、江戸時代に版行された版本（約500冊）や古文書（現物を見たい場合は要閲覧申請）等で文学を調べてみたりすることもできます。他にも、区内各所を写した古写真（約30,000点）や絵葉書、古い地図を見て、昔懐かしい北区の姿や、発展の歴史を見るすることができます。自分の興味がある分野で地元北区を調べてみませんか？

また、「北区の部屋」には、地域資料の専門員がおり、北区に関する素朴な疑問から専門的な質問まで、利用者の「なぜ？」にわかりやすく対応します（専門員は在室していない日があります）。ぜひ、お越し下さい。



北区立中央図書館

〒114-0033 北区十条台1-2-5 Tel.5993-1125 Fax.5993-1044
北区立図書館蔵書資料検索：<http://www.library.city.kita.tokyo.jp/>

おすすめビジネス書



強い農業をつくる

青山浩子著 / 日本経済新聞出版社 / 1,600円 (税別)

著者は農業ジャーナリスト。農業はいま一種ブームのなかにあるが、経営の厳しさは以前と変わらない。どうすれば農業に活路を見出し、本来の魅力を引き出すことができるのか。著者は、「安全」「情報発信」「ブランド化」「流通改革」「農業という仕組みの変更」という観点から日本の農業を見直し、各地で行われているさまざまな試みを紹介している。農業経営者の健全な育成が図られれば、日本の農業には、今後、大きな可能性があることを感じさせてくれる1冊だ。



転職の青本 大恐慌対策版

小松俊明著 / ゴマブックス / 1,500円 (税別)

著者は人材紹介会社を経営。著者は、不況下での企業の採用方針を、増員採用から補充採用へのシフトと捉え、こうした状況下で転職を成功させるポイントや、自分のキャリアアップにつながる転職先探しなどを具体的に説いている。まず、会社の円満な退社法、次いで、転職先・職種選択の際のさまざまな留意事項、多様な求人情報の集め方・読み方、さらには履歴書の有効な書き方と面接への心構えまで。基本、見開き2ページ1項目で、図表も豊富。厳しい時代を転職で乗り切るためにの心強い指南書になっている。



凡人起業 ~『カリスマ経営者』は見習うな！~

多田正幸著 / 新潮社 / 680円 (税別)

著者は、子どものころより貿易会社の社長になることを夢見て商社に勤務。退社後起業したが、バブル崩壊後の不況で失敗し、現在は税理士となっている。著者は独立開業を意識しつつ続けてきた“社長ウォッチ”と“サラリーマンウォッチ”的経験から、サラリーマンにはバランスがキモであり、社長は変人が普通、と説く。本書は、変人力で経営を推進するカリスマ社長になれない凡人が起業するための方法論について、具体的に、やや冷めた目線で描かれた異色のビジネス本。



北区立図書館ビジネス書貸出ランキング (6/1～7/31)

- 1 資本主義はなぜ自壊したのか 中谷巖著 / 集英社インターナショナル
- 2 さおだけ屋はなぜ潰れないのか？ 山田真哉著 / 光文社
- 3 金持ち父さん貧乏父さん ロバート・キヨサキ著 / 築摩書房
- 4 お金は銀行に預けるな 勝間和代著 / 光文社
- 5 スタバではグランデを買え！ 吉本佳生著 / ダイヤモンド社



北区インフォメーション

01

未来永劫～日本のものづくりを伝え継ぐ職人の技～ 第17回北区伝統工芸展

自分も職人気分で陶芸などが体験できるコーナー、工芸作家の手の動きなどが間近で見られる実演コーナーなど見て楽しい、触って楽しい伝統工芸展です。

当日アンケートにご回答いただいた方のなかから抽選で伝統工芸品を贈呈します。また、アクセサリーやお箸などが買える即売コーナーやお茶席も用意しています。ぜひ、職人の技、作品を見にお越しください。

日 時 10月3日（土）午前10時～午後6時

4日（日）午前10時～午後5時

会 場 北とぴあ地下1階展示ホール 入場無料

問合せ 産業振興課商工係 電話：5390-1235



02

ものづくりに興味がある若者集まれ 2009若者就職 フェスタin王子

区内企業の紹介ブースでの企業説明やセミナーが開催されます。若者の柔軟な発想や行動力を区内のものづくり企業で発揮してみませんか？

※会社面接会開催予定

日 時 11月5日（木）午後1時～午後5時

会 場 北とぴあ地下1階展示ホール 入場無料

問合せ 産業振興課経営支援係 電話：5390-1237



03

都電が走る街を秋を感じながらのんびり歩こう 都電荒川線ウォークラリー

都電荒川線を利用して、沿線の観光スポットや史跡文化財、商店街などを歩いて巡る「都電荒川線沿線ウォークラリー」を開催します。詳しくは北区のホームページ、観光ホームページをご覧下さい。

日 時 10月17日（土）

午前10時～午後3時

（受付は正午まで）

問合せ 産業振興課産業振興係

電話：5390-1234



04

北区産業遺産めぐり スタンプラリー

開催期間 10月29日（木）～11月29日（日）

北区は洋紙の発祥の地です。国が認定した北区内の産業遺産施設を訪ねて、製紙業と北区の新たなものがたりを感じてみませんか。ラリー対象施設は、「紙の博物館」「渋沢史料館」「東書文庫」「国立印刷局王子展示室」です。詳しくは、北区のホームページ、観光ホームページをご覧下さい。

問合せ 産業振興課産業振興係 電話：5390-1234

北区景況調査

北区では、区内中小企業に対する「景況調査」を年4回実施しています。

調査時期 平成21年1月～3月

景気
予想



製造業 **G** ↘→ **G** ↘

都との比較では優位に立つものの、前期に比べ、景況感がやや悪化し、悪化傾向に歯止めがかかっていない。売上額・受注残は引き続き悪化している。価格面では、原材料価格が大幅に悪化し、販売価格は3期連続で下落し、収益は大きく後退した。資金繰りも前期よりやや悪化し、厳しさを増している。借入難易度はほぼ前期並みであった。

小売業 **G** ↘→ **F** ↘

景況感は全都と比較すると大きく上回っているものの厳しい状況が続いている。売上額・収益とも前期から大きく改善したが、仕入価格・販売価格は低下しており、収益環境の本格的回復には至っていない。借入難易度は大きく悪化したものの、「借入をした企業は」前期と比較して増加した。

サービス業 **G** ↘→ **G** ↘

景況感・売上額・収益いずれも前期に比べ大きく回復した。価格面では、材料価格がやや低下し、料金価格が回復したため、収益環境は大きく改善し、資金繰りも大幅に改善した。全体として回復傾向にあるものの、業況Dは依然として低い水準で本格的な回復には至っていない。

建設業 **E** ↘→ **F** ↘

景況感は2期連続で悪化し、売上額・施工高とともに悪化した。材料価格は大幅に改善したものの、請負価格が大きく悪化しており、収益は悪化した。収益は8期連続で悪化し、業況IDが過去2年間で最悪を更新するなど厳しい状況が続いている。資金繰りはやや厳しさを増し、設備投資を実施した企業は大幅に減少した。